

BiG-i Communication Paper
 i-co, it peels off and it means the tie in, Japanese. This is a word that shows an equal relation without the win and the defeat either. i-co sends information helps regardless of the handicapped person or the able-bodied person by the spirit of this dividing each other.

2012 vol. **3**



特集

からだ

I feel to music

障

障がいのない人のように振舞わなければならない…。障がいのある人として謙虚な態度をとらなければならない…。周りの人たちに合わせて、ひっそりと生きていかなければならない…。
 誰かが望む『大橋ひろえ』になろうと、もがいていた日々、私はどこにもいなかった。私は私じゃなかった。私っていったい誰なの？

そんなとき、ダンスに出会った。

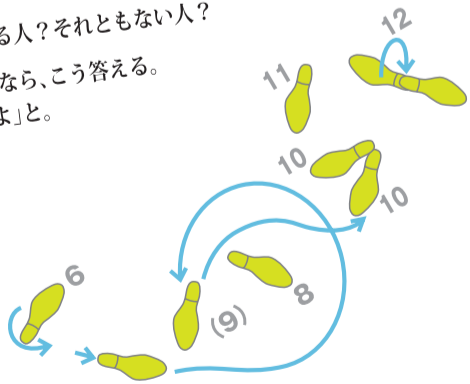
耳が聞こえない、話せない、目が見えない、立てない、歩けない…。いろんな障がいのある人がいるけれど、中身は障がいのない人と同じ「人間」なんだ。英語でも日本語でも、口話でも手話でも筆談でも、ボディランゲージでも表情でもしぐさでもまなざしでも、ハグでも、なんでもいい。伝える手段は、言葉だけじゃない。コミュニケーションは方法を選ばない。心と心が通じ合えばいい。

ダンスは、そんなことを私に教えてくれた。

からだで表現することは、自分をさらけ出すこと、むき出しのはだかになること。人と違ってもいいんだ！その真実を知って、私は、自分を他人と比べることをしなくなった。はじめて自分を好きになることができた。そして、チャレンジする喜びを知った。それは、ほんとうの私を見つける冒険。私が望む『大橋ひろえ』になるための旅。いつもワクワクドキドキにあふれている。ときどきハラハラも味わえる。「あれもやってみよう」「これもやってみよう」「もっと自分を表現したい」私の好奇心は、果てしなく、どこまでも、どこまでも加速していく。

あなたは、障がいのある人？それともない人？

もし、そう尋ねられたなら、こう答える。「私は私。大橋ひろえよ」と。



- 大橋ひろえ
女優／サインボーカル・ダンサー／プロデューサー／小山評定ふるさと大使(栃木県)
- *1971年6月3日、佐賀県生まれ。生まれつき耳が聞こえないものの、唇から相手の話していることを理解し会話することもできる。
- *栃木県宇都宮市の私立作新学院を卒業した後、手話演劇やDANCE、自主映画製作を始める。
- *1997年、自ら制作したビデオ作品『姉妹』が「SIGHT・サイト映像展」で入選。
- *1999年、俳優座劇場プロデュースの『小さき神のつくりし子ら』で主役・サラに一般公募で選ばれ、好評を博す。この舞台で第7回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。その後、渡米して演劇やDANCEの勉強をするかわら、手話SONG&DANCEのユニット「ソウル・レインボー(Soul Rainbow)」を結成。
- *2002年、初めて制作したミュージックビデオが、アメリカの「メディア・アクセス・アワード賞」で第2位を受賞。
- *2005年、芸術的な手話パフォーマンスを普及させるために「サインアートプロジェクト・アジア」を設立。
- *2006年、「サインアートプロジェクト・アジア」初企画サインミュージカル「Call Me Hero!」をスタートし、好評を博す。
- *書籍:『もう声なんかいらなかった』(出窓社)「音楽を見る」「音楽を感じる」
<http://www.sapazn.jp//index.html>



『Call Me Hero!』
 ～もう声なんかいらなかった～
 大橋さんがモデルのミュージカルに自らが主演。写真は、アメリカのダンスコンテストで踊るシーン。2011年4月15日～17日 世田谷パブリックシアターにて 詳しくは<http://www.sapazn.jp/NCMH.html>

